

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者の高齢化、重症化に伴い、骨折、長期入院に至る転倒事故が発生している。	重症化に繋がる転倒事故が起こらない、起こさせない。(重度転倒ゼロ作戦)	転倒のリスク、利用者個々の身体状況の把握等、職員間の情報共有、連携を構築する。 転倒因子となる危険物の除去(床の水濡れや汚れ)、共有領域の整理整頓等環境整備を行う。	12ヶ月
2		入居者の高齢化、重症化に伴い、骨折、長期入院に至る転倒事故が発生している。残存機能、認知症進行差あるため、グループワークが出来ていない。	利用者お一人、お一人が無理なく楽しめるグループワークを提供し、交流を深める。	利用者個々の嗜好や趣味、要望をリサーチし、楽しめるレクを計画する。 レクの積み重ねをアセスメントし、ユニットで取り組めるグループワークを通し、目に見える成果(作品等)から利用者間、利用者 職員の交流を深める。	12ヶ月
3		自尊心に対する配慮が欠けていた(排泄等に関する)	尊厳を守り、自尊心に対する配慮ができるように。	・職員同士、利用者の方の排泄確認時やトイレ誘導時の声掛けに配慮する(小声で)	12ヶ月
4		個々の状態や嗜好に合わせた趣味活動や役割活動が出来ていない。	個々のスペースも大切にしつつ、個々の状態や嗜好に合った趣味活動や役割活動ができるように。	・個々の嗜好や趣味をリサーチし、楽しめるレクを計画し、時間を取り実施する。無理のない程度に。	12ヶ月
5		居室の生活環境を整える配慮が欠けていた。	個々のスペースを大切に、居室の生活環境を整える。	・居室担当者は定期的に居室の整理整頓を利用者の方(可能な方)と行う。 ・毎朝の掃除の際、汚れはないか、整理整頓は出来ているか、危険因子はないか等確認する	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。